

## 令和4年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

・全学年において少人数授業を展開することにより、基礎基本の定着を図ることができた。

・外国語教育指導員の活用により、発表活動を定期的に授業に取り入れ、表現力を育むことができた。

#### (2) 課題

・自ら考え、場面に応じた英作文を正確に作るなど、全学年を通して「書くこと」の分野で正答率に差が見られた。

・英単語を正確に覚えるなどの語彙の知識や、基本的な語形・語法の理解において差がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	基礎では目標値を上回ったが活用では0.1ポイント下回った。	基礎では△5、活用では△3、校内正答率が目標値を上回った。	
第2学年	基礎では目標値を上回ったが、活用では6ポイント下回った。	基礎、活用ともに校内の正答率が目標値に達することができた。	前年度の校内正答率は、今年度とほぼ同じであった。 (第1学年時)
第3学年	主に、リスニングや語彙の知識・理解の分野では、目標値を上回ることができた。	基礎では△1、活用では△9、校内正答率が目標値を上回った。	校内正答率は、2ポイント目標値を上回った。 (第2学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単語の意味理解やアルファベットへの理解は大きく目標値を上回っている。場所を表す表現の聞き取りが著しく低いことが課題である。	基本的な語順理解では目標値を上回っているが、「聞くこと」の英文の読み取りの理解が下回っていることが課題である。	「書くこと」の英作文では目標値を概ね上回っており、主体的に問題に取り組む姿勢が見られた。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙の知識、理解では、目標値を上回った。しかし語形・語法の知識・理解では目標値を下回っている。対話文を読み、基本的な語形などを理解出来ていないことが課題である。	特に、表現の「書く」問題において、場面に応じた英作文や3文以上で「自分の得意なこと」についてまとまった内容を説明する英文の正答率が目標値を上回る結果が出ている。	特に、リスニングにおいて評価が目標値と同程度もしくは上回っており、絵や対話の内容を適切に聞き取り、要点を把握できており、主体的に問題に取り組む姿勢が読み取れる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙の知識・理解において「助動詞の後の動詞の形」や「過去進行形」などの問題で目標値を下回っていた。動詞の語形変化において課題があることが読み取れる。	記述式のリスニング問題や3文以上の英作文において正答率が目標値を下回っていた。自ら考え、説明しながら英文を記述する問題に対して課題が見られる。	リスニングの分野において正答率が目標値とほぼ同程度もしくは上回っていた。社会的や日常的な話題について、要点を的確に捉えることができていた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習した単語や文法において、日常会話など身近な話題を題材にした課題に取り組み、活用できるようにしていく。	授業内で英作文の課題を取り入れる。特に、自分自身が体験したことや感じた気持ちを文に表すことができるよう練習していく。	様々な題材に対して英作文をし、それを発表活動につなげていく。主体的に自分の言葉で表現する態度を育成していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習した単語や文法において、日常会話など身近な話題を題材にした課題に取り組み、活用できるようにしていく。また、スペリングコンテストを	「書くこと」において条件英作文の課題を多く授業内に取り入れる。「好きなこと」や「お気に入りの場所」など、身近な話題を設定する。	授業内で「書く」ことの指導を入れ、発表活動につなげる。自分の言葉で発表することにより、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

毎学期実施していく。		
------------	--	--

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動詞の語形変化の課題に対して、不規則動詞変化表の小テストを毎時間行い定着を図る。また、2年次までの文法事項を復習し、まとめることで、知識を活用できるように取り組む。	「書くこと」において条件英作文の課題を授業内に取り入れる。身近な事柄に関する短文から始め、段階的に文数を増やすなど工夫しながら、表現できるように練習する。	授業で「英会話」を計画的に実施する。英会話では、既習内容の文法事項を使用し、ペアで原稿を作成、発表させる。相互評価や ALT 評価を加え、主体的に学習に取り組む態度を育成する。